広島県感染症発生動向週報

[広島県感染症予防研究調査会]

1 五類定点疾患別週報情報

平成18年第37週(9月11日~9月17日)

						ו אנו	0年和37週(7	, <u>,</u>	<u> </u>	<i>/</i> / / / /	<u> </u>
疾患No	疾患名	週間 発生数	定点当り	過去 5年 平均	発生 記号	疾患No	疾患名	週間発 生数	定点当り	過去 5年 平均	発生 記号
1	インフルエンザ	5	0.04	0.00		12	ヘルパンギーナ	11	0.15	0.57	
2	RSウイルス感染症	11	0.15	-	\Diamond	13	麻しん 2	0	0.00	0.06	
3	咽頭結膜熱	46	0.64	0.61	\Box	14	流行性耳下腺炎	30	0.42	0.99	\Diamond
4	A 群溶血性レンサ球 菌咽頭炎	27	0.38	0.40	\Diamond	15	急性出血性結膜炎	0	0.00	0.01	
5	感染性胃腸炎	242	3.36	2.76	$\langle \rangle$	16	流行性角結膜炎	22	1.16	1.68	$\widehat{\Box}$
6	水痘	29	0.40	0.51	$\widehat{\Box}$	17	細菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	
7	手足口病	8	0.11	0.83		18	無菌性髄膜炎	1	0.05	0.18	
8	伝染性紅斑	11	0.15	0.15	$\langle \rangle$	19	マイコプラズマ肺炎	2	0.10	0.10	
9	突発性発しん	61	0.85	0.78	$\langle \rangle$	20	クラミジア肺炎 3	0	0.00	0.01	
10	百日咳	1	0.01	0.03		21	成人麻しん	0	0.00	0.00	
11	風しん	0	0.00	0.01	_	ı	「過去 5 年間の同時	期平均	(定点	あたり)

ヘルパンギーナ 急減 (27件 11件)

| 「過去5年間の同時期平均(定点あたり) 報告数が少数(10件未満)の場合,発生記号は記載していません。

- 1 高病原性鳥インフルエンザを除く。
- 2 成人麻しんを除く。
- 3 オウム病を除く。

急増減	増減	微増減	横ばい
1	•	\Diamond]
1	*	\Diamond	└ -√
前週と比較しておおむね 1:2以上の増減	前週と比較しておおむね 1:1.5~2の増減	前週と比較しておおむね 1:1.1~1.5の増減	殆ど増減なし

2 一類・二類・三類・四類・五類(全数把握対象)感染症発生状況

一類感染症発生なし二類感染症発生なし

三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 5 件

四類感染症 発生なし 五類感染症(全数) 発生なし